



黒川中だより

第8号

令和8年1月30日発行

<https://tainai-kurokawa-jhs.edumap.jp/>

TEL 0254-47-2425



教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

「原動力」

校長 村田 健

令和8年を迎え、1ヶ月が過ぎました。冬休み中も、大きな病気や事故の報告もなく、無事に3学期をスタートすることができました。昔から「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」と言われています。お正月や三連休が終わり、ようやく生活のリズムが整ったと思ったら1月が終わろうとしています。1月はアツという間に行ってしまいましたので、2月には逃げられないよう先取りして行動したいと思います。12月(師走)から、「忙しい」「時間が経つのが早い」といわれる月が4ヶ月間、すなわち1年の3分の1続くのですから1年という月日は早く感じられる訳ですね。

さて、2月の行事として「節分」や「バレンタイン」が挙げられ、楽しみにしている人も多いと思います。今年の2月はイタリアで「ミラノ・コルティナオリンピック」が開催されます。4年に1度の冬のスポーツの祭典で、全世界が熱く感動を共有できる瞬間です。私は、28年前の長野オリンピックのアルペンスキーを白馬八方尾根スキー場で観戦しました。時々、地鳴りのような歓声が聞こえていましたが、今思うと、隣の白馬ジャンプ競技場で行われていた個人ノーマルヒルの競技に、日本選手が飛行していた時の歓声だったのではと思います。私が白馬を訪れた1週間後、スキージャンプ団体日本チームが今や伝説として語られる金メダルを獲得します。伝説のドラマのポイントは、「悪天候の中を飛び、競技再開を可能にしたテストジャンパーの存在」「前回大会大失速の銀メダル」「メンバー入り出来なかった選手の嫉妬」等々あります。4年に1度のチャンス、母国開催のプレッシャーの中、伝説のドラマの主人公達は何を「原動力」として行動していたのでしょうか。

また、お正月の風物詩となった「箱根駅伝」。気がつくテレビから離れられなくなってしまった人もいるのではないのでしょうか。毎年数々のドラマが生まれますが、今年の大会では往路最終区間(山登り)で3分以上の差を逆転し、往路優勝するドラマが見られました。今回も後世に伝説として語り継がれる大会となりました。そもそも、「長距離を走る」「1時間も走る」「急な坂を走る」「お正月なのに走る」今の私にとって、魅力を感じて挑戦する事ではありません。しかし、「関東の大学に進学しよう」「山の神になろう」「総合優勝したい」と思って挑戦する学生ランナーは多くいます。「なぜお正月に、わざわざ辛いことをするのか」と私は思っていますが、「箱根」には学生ランナーが憧れる魅力があり、それが「原動力」となって練習に打ち込み、メンバー入りを果たして伝説を生んでいくのだと感じました。

3学期始業式に「3学期や新年の目標を立て、達成できるようにしましょう。」という話をしました。その中で「できる」の反対語を質問しました。多くの生徒が「できない」と声を出してくれました。「正解です！」が、いじわる問題だと答えが変わります。生徒は「・・・」。答えは「やらない」です。と伝えると生徒の表情は「??？」でした。「できない」のではなく「やらない」ことが今までなかったのでしょうか。「やらない」を「やってみる」に変えたり、行動したりすることで「できる」ことが増えていきます。その最初の一步を踏み出す力が「原動力」なのかもしれません。

2月6日から始まる冬季オリンピックには、新潟県出身・関係の選手も7名決定しています。どんな活躍を見せてくれるのか、メダルが獲れるのかなど、たくさんの注目点があります。私は、テレビには映らない選手の肉面的、精神的な部分にも注目したいと思います。がんばれ！日本！！

最後になりましたが、保護者、地域の皆様、本年も黒川中学校へのご支援・ご協力を
よろしく願いいたします。

1/9 キャリア学習発表会

1月9日（金）延期していた3年生によるキャリア学習発表会が行われました。

内容は前半が3年間の学びをスライドでまとめた発表と後半が地域の伝統芸能である稲わらを用いたリース作りのワークショップを行いました。

発表は、3年生で取り組んだ「黒川堪能プラン」にたどり着くまでの1年生からの学びの過程を丁寧に伝えてくれました。現1、2年生にとっては、今後の見通しが図れる貴重な内容でした。その後、11月7日（金）に実施した黒川堪能プランの【ツアー班】と【グルメ班】がそれぞれ発表してくれました。

発表後は、堪能プラン当日に提供された「白玉だんご」の試食が行われました。もちもちした食感を「きなこ」と「みたらし」で味わい、「美味しい」の感想が響いていました。

ワークショップでは、稲わらを使ったリース作りを行いました。3年生が1、2年生に作り方を教えたり、相談しながら作ったりするなど、温かい雰囲気の中、それぞれが個性溢れる装飾をしていました。1、2年生にとって、今後の参考となる3年生の取組でした。

ご多用の中、本日参加いただいた皆様、これまで生徒の活動にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

【3年生による発表・提言】



【白玉だんごの試食】



【ワークショップ 藁を用いたリース作り】



第2回生徒総会 スローガン『輝笑展結』

1月23日（金）今年度の生徒会活動の集大成となる第2回生徒総会が行われました。

今年度の生徒会スローガン『輝笑展結』の実現に向けて、3年生を中心にして様々な活動に取り組んできました。より良い黒中の実現に向けて精一杯頑張りました。

生徒総会では、現リーダーからの活動報告と質疑応答が行われました。1、2年生からも建設的な意見や要望がなされ、3年生からバトンを受け継ぎ、「より良い黒中を自分たちが継承・発展させていく」という決意を感じる時間となりました。



議事を進行する議長団



活動報告をする広報委員長



質問をする1年生

新旧生徒会役員の引継ぎ式

令和8年度の生徒会役員が決定し、生徒総会后に3年生から「ファイル」と「3年生の黒中への思い」をしっかりと引き継ぎました。全校生徒の前で一列に並んだ新しいリーダーたちの真剣な表情から、これまでの先輩方が築いてきた黒中の伝統の上に、新しい時代を切り拓いていく強い思いを感じました。

3年生の皆さんには、本当に感謝です。ありがとうございました。

資料を引き継ぐ新旧リーダー



<新本部役員・新専門委員長>

生徒会長	水澤 一真	副会長	小谷 大翔	今井日奈子
総務役員	坂上恵美奈	渡邊 心乃	錦織 音映	
	坂上 拓真	山口 愛生	八幡 芽奈	
	緒形 心美			
生活委員長	榎本 航			
保健委員長	近藤 柊矢			
広報委員長	小柳心々奈			
図書委員長	齋藤 芹菜			
ボランティア委員長	榎本 晴希			



新生徒会役員の集合写真

人権パネル展 (16日～21日)

胎内市人権強調週間期間中(12月4～10日)、胎内市役所で展示されていた市内4中学校のパネルを16日から21日まで展示しました。廊下を通る生徒達は足を止め、各校の人権教育、同和教育の取組を見ていました。

今後も黒川中学校では、私たち教職員も正しい人権感覚をもち、生徒と共に学ぶ姿勢で人権教育、同和教育を進めて参ります。



ようこそ黒川中学校へ



1月8日(木)辻元秀夫先生が着任しました。黒川中学校で一緒に学ぶメンバーが一人増えたことを大変嬉しく思います。学習指導員として、全校生徒の皆さんの学習サポートに携わっていただきます。よろしくお願いいたします。

黒中生の活躍

<ソフトテニス>

新潟県中学校新人ソフトテニス大会

男子団体3位 きらら村上 中野 大誠さん(北信越大会出場)

<数学検定>

4級合格 小谷 大翔さん



2月～卒業式までの主な予定

2月 定期テスト前諸活動停止(～5日)

2日(月) 質問教室②

4日(水) **定期テストⅣ1日目 給食なし**

5日(木) **定期テストⅣ2日目**

6日(金) 1・2年生スキー教室
部活動なし

9日(月) 専門委員会
スクールカウンセラー来校日

13日(金) 入学準備説明会(新入生の保護者対象)
メディアに関する親子講演会

17日(火) 黒川っ子の未来を語る会Ⅵ

18日(水) 基礎学力テスト **国語**
フッ化物洗口

19日(木) 生徒朝会(三送会)

20日(金) 全校朝会

24日(火) 第2学年修学旅行(～26日)

25日(水) フッ化物洗口

3月

4日(水) 公立高校一般入試
1・2年生単元別整理テスト

5日(木) 同窓会入会式(3年生)
卒業式予行、卒業式準備
バルーンアート制作(保護者)

6日(金) 祝 第47回卒業証書授与式